

年度評価シート

課名 高齢者福祉課

施設の名称	老人福祉センター等11館	指定管理者名	(特非) ワーカーズコープ																																							
1 履行状況																																										
<p>一部事業については、新型コロナウイルス感染症の影響により、中止したのもあったが、事業計画書から逸脱することなく、概ね適切に実施できている。</p> <p>(1) 施設維持管理業務</p> <p>各種保守点検、建築設備点検等、第三者委託により、施設維持管理書に従い、適切に漏れなく実施された。</p> <p>修繕等については、消防設備や空調設備の不都合など、利用者の安全面、健康面に関する案件について迅速に修繕が行われた。また、令和4年9月に発生した台風15号による被害は各館軽微なものにとどまった。</p> <p>(2) 施設利用状況</p> <p>令和4年度の11館合計利用者数は、233,637人であり、前年度の180,039人から53,598人の大幅な増加となった。また、11館新規入館者カード発行枚数も前年度の455枚から851枚と増加している。コロナ禍で感染防止対策を徹底しつつ、新規利用者も含め、利用者が増加したことは評価できる。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>施設名</th> <th>年間利用者数</th> <th>前年度利用者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>用宗老人福祉センター</td> <td>40,405人</td> <td>27,640人</td> </tr> <tr> <td>鯨ヶ池老人福祉センター</td> <td>33,286人</td> <td>27,438人</td> </tr> <tr> <td>長尾川老人福祉センター</td> <td>28,476人</td> <td>20,537人</td> </tr> <tr> <td>船越老人福祉センター</td> <td>21,573人</td> <td>17,384人</td> </tr> <tr> <td>折戸老人福祉センター</td> <td>13,916人</td> <td>9,714人</td> </tr> <tr> <td>蒲原老人福祉センター</td> <td>12,667人</td> <td>10,357人</td> </tr> <tr> <td>清水老人憩の家清開きらく荘</td> <td>15,884人</td> <td>11,843人</td> </tr> <tr> <td>清水東部老人憩の家</td> <td>7,352人</td> <td>6,008人</td> </tr> <tr> <td>清水北部交流センター</td> <td>28,855人</td> <td>22,948人</td> </tr> <tr> <td>清水南部交流センター</td> <td>11,282人</td> <td>8,930人</td> </tr> <tr> <td>由比交流センター</td> <td>19,941人</td> <td>17,240人</td> </tr> <tr> <td>(合計)</td> <td>233,637人</td> <td>180,039人</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 事業実施状況</p> <p>ア 各種相談（生活相談・健康相談）</p> <p>令和2年度から引き続き、毎月1回の生活・健康相談のほかに、相談を随時受け付けた。11館で、延べ606人の相談があり、施設がコロナ禍においても、様々な不</p>				施設名	年間利用者数	前年度利用者数	用宗老人福祉センター	40,405人	27,640人	鯨ヶ池老人福祉センター	33,286人	27,438人	長尾川老人福祉センター	28,476人	20,537人	船越老人福祉センター	21,573人	17,384人	折戸老人福祉センター	13,916人	9,714人	蒲原老人福祉センター	12,667人	10,357人	清水老人憩の家清開きらく荘	15,884人	11,843人	清水東部老人憩の家	7,352人	6,008人	清水北部交流センター	28,855人	22,948人	清水南部交流センター	11,282人	8,930人	由比交流センター	19,941人	17,240人	(合計)	233,637人	180,039人
施設名	年間利用者数	前年度利用者数																																								
用宗老人福祉センター	40,405人	27,640人																																								
鯨ヶ池老人福祉センター	33,286人	27,438人																																								
長尾川老人福祉センター	28,476人	20,537人																																								
船越老人福祉センター	21,573人	17,384人																																								
折戸老人福祉センター	13,916人	9,714人																																								
蒲原老人福祉センター	12,667人	10,357人																																								
清水老人憩の家清開きらく荘	15,884人	11,843人																																								
清水東部老人憩の家	7,352人	6,008人																																								
清水北部交流センター	28,855人	22,948人																																								
清水南部交流センター	11,282人	8,930人																																								
由比交流センター	19,941人	17,240人																																								
(合計)	233,637人	180,039人																																								

安を抱える利用者にとって話を聴いてもらえる場であり続けることは、評価できる。

イ 介護予防・健康増進

教室・講座などの主催事業を4,549回実施し、延べ66,851人が参加したことから、多くの利用者の来館目的となっていることが窺える。中でも、しぞ〜かでん伝体操は38,807人の参加があり、コロナ以前の平成30年度水準に戻ってきている。

ウ 教養講座・レクリエーション等

教室・講座などの主催事業を1,577回実施し、延べ16,867人が参加した。これらの開講に当たっては「歴史講座」や「バードウォッチング」等、利用者ニーズに沿った新しいものを実施している。また、スマホ教室を全館で実施するなど、高齢者の情報リテラシー向上に努めている。

エ 老人クラブに対する援助等

引き続き新型コロナウイルス感染防止のため、用宗・鯨ヶ池・長尾川で例年行われている老人クラブの総会、集い等が中止になったが、その他の施設では、ペタンク、グラウンドゴルフ等の老人クラブの活動や大会のサポートを行った。

オ 自主事業

11館合同イベントはコロナ禍のもと開催することは実施できなかったが、「4館合同ポールウォーキング交流会」や「3館合同ダンス交流会」といった、一部施設同士の交流イベントは実施することができた。

また、年間を通して、日常の館内展示や作品展を重視するよう心掛けていた。

カ その他

防災訓練・津波避難訓練については、各館2回以上実施した。

また、運営委員会、クラブ代表者会議を開催し、地域や利用者とのコミュニケーションを保持した。

職員研修は、経理研修や労働者協同組合法学習会のほか、でん伝体操講座やケアマネージャー研修会等にも一部職員が参加した。

引き続きハッピーシニアライフ事業として「ハッピーシニア体験ツアー」、「陶芸体験会」を当課と連携して実施し、市民や地域に施設の取組を発信した。

2 市民（利用者）からの意見・要望の内容とその対応状況の評価（クレーム対応 等）

市民（利用者）からの意見・要望・クレームについては、一人ひとりの職員が市の窓口であるという意識と緊張感をもって対象者に丁寧な説明を行うと共に、迅速かつ適切に対応されている。

3 市民（利用者）へのアンケートや満足度調査の状況評価

コロナ禍であっても2,706人から回答を得ており、「満足及びやや満足」の回答割合から、概ね利用者には満足いただいていると評価できる。

満足及びやや満足	施設利用満足度	職員対応満足度
老人福祉センター 6館	95.2%	97.1%
老人憩の家 2館	97.8%	97.8%
世代間交流センター 3館	98.0%	97.1%

4 指定管理者の経理状況の評価	
電気・ガス・ガソリン・灯油などのエネルギー諸費用の高騰等はマイナス要因となったが、反面コロナ禍の利用制限緩和に伴う利用者増加はプラス要因として捉えることができる。概ね予算のとおりには執行されているため、良好である。	
5 総括的な評価（課題事項・指摘事項及びそれらの改善状況 など）	
前年度事務事故発生の有無	無
前年度モニタリング調査における改善協議事項の有無	無
<p>平成31年度3月から3年間に渡って続いた新型コロナウイルス感染症の影響による利用制限が、令和4年度3月にほぼ全て解除された。この3年間の利用者数が右肩上がりに推移していることから、利用者ニーズを捉えた事業を推進し、利用者の増加に努めた点は評価できるものの、平成30年度と比較すると未だ約62%となっている。令和5年度はフレイル予防の推進及び来館を躊躇している利用者呼び戻すために、実施事業の創意工夫に期待したい。</p> <p>総括として、ハード面については、速やかに修繕を実施することで安心・安全な管理運営を心がけており、ソフト面については、自主事業を積極的に推進していることから、施設の管理運営は良好に行われている。</p>	

※事務事故が発生したとき及びモニタリングにおいて改善の指導があったときは、必ず改善状況を記載すること。